



今後の市立保育所の方向性（案）

| ① 地域における子育て支援機能 | ② 地域の保育資源及び関係機関との連携調整機能 | ③ 保育サービスのセーフティネット機能 |
|---|---|---|
| <p>① 総合相談</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 専門職による専門性を活かした相談 ○ 地域の身近な相談施設としての有効活用 <ul style="list-style-type: none"> ・ 登録制のかかりつけ保育園（マイ保育園） ・ 健康診断等の実施 等 <p>② 子育て交流の場の提供と交流促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 子育てひろば「ポップコーン」等の拡充 ○ 園庭開放、体験保育の拡充 ○ 公園、児童館等の地域資源での支援展開 等 <p>③ 地域組織の活性化への取組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 地域子育てサークルの支援 ○ ボランティア育成 <p>④ 総合的な情報提供と利用支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 地域の保育資源の情報収集と適切な提供 | <p>① 連携拠点（コーディネーター）機能</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 市立、私立、認可、無認可の枠組みを超え、NPOやボランティア団体等を含む保育資源のネットワークの連携調整 <ul style="list-style-type: none"> ・ テーマ別学習会、情報交換 等 ○ 保育資源のみならず地域の関係機関（文化センター児童館、学校等）や他分野（高齢者等）との重層的なネットワークの連携調整 <ul style="list-style-type: none"> ・ 保健センターとの連携による潜在的な子育て支援ニーズへの対応（こんにちは赤ちゃん事業等） ・ 世代間交流を軸とした地域社会との連携 等 <p>② 地域内の保育施設等への支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 地域内の保育施設（私立・認証・保育ママ）への運営指導と運営支援 <ul style="list-style-type: none"> ・ 保育アドバイザー（仮称）による巡回指導 ・ 相互施設の情報交換、職員や児童の交流 ・ 園庭や遊具の利用 等 | <p>① 市の保育サービスの指標となる取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ マニュアル等の積極的な提供や保育のガイドライン「府中の保育」（仮称）の作成 等 <p>② 障害児及び要保護児童への積極的な取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 関係機関（あゆの子、多摩療育園、児童相談所等）との連携基盤を強化するとともに、地域の民間保育施設等との連携による積極的な関与 <p>③ 災害発生時の対応</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 災害発生時の応急保育への取り組み、ハード面（面積、設備等）の強みを活かした備蓄品の確保 等 |